

浜の活力再生プラン (第 2 期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	中津地区地域水産業再生委員会
代表者名	園 日出夫(大分県漁業協同組合中津支店 中津地区漁業運営委員長)

再生委員会の構成員	大分県漁業協同組合中津支店、大分県北部振興局農山漁村振興部、 中津市林業水産課
オブザーバー	

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	中津地区 底曳網漁業 33 経営体、船曳網漁業 11 人、刺網漁業 9 人、建網・ カゴ・壺漁業 30 人、採貝・採藻業 30 人、のり養殖業 7 人、そ の他雑漁業 15 人 延べ 110 人 ※ 2 以上の漁種を兼業する漁業者を含む。
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

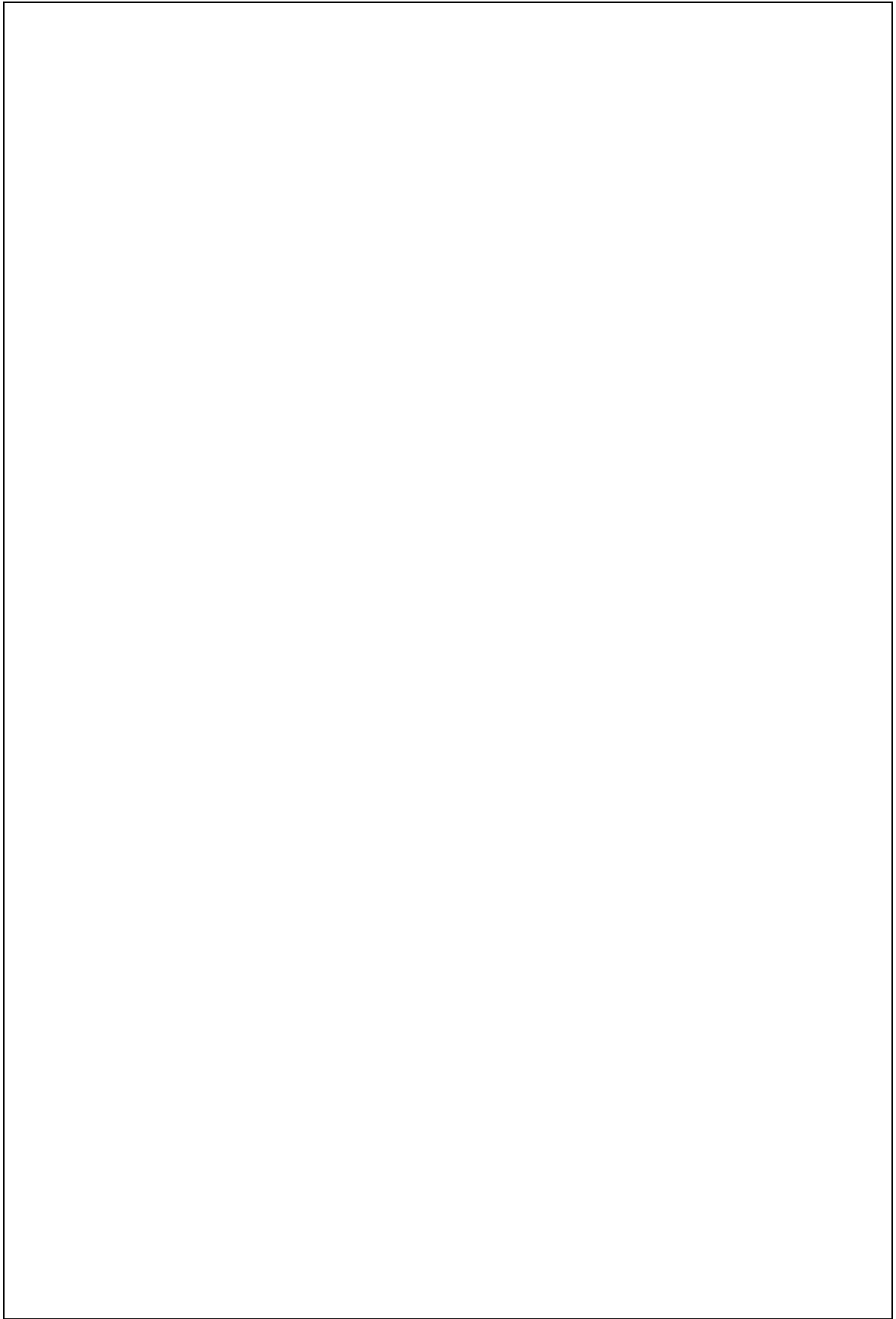
<p>中津市は大分県の北西部、福岡県境に位置し、日本三大干潟のひとつである広大な中津干潟が広がり、干潟を利用した採貝藻・ノリ養殖漁業、続く砂質漁場では建網漁業・カニカゴ・タコ壺漁業、さらに続く沖合では底曳網漁業などが盛んに営まれてきた。</p> <p>しかしながら、地球温暖化や近年の異常気象による豪雨水害の発生により大量のゴミ・土砂が干潟に流入するようになったため、干潟環境が悪化している。このことがアサリ、バカガイなど壊滅状態が続く主な要因となっている。加えて、沖合域の資源減少、魚価の低迷、燃油価格の高騰などから経営体数は年々減少の一途を辿っている。</p>
--

(2) その他の関連する現状等

<p>中津市では、壊滅状態である二枚貝の増殖と干潟漁業の再生のため、客土、有害生物（ナルトビエイ等）の駆除及び堆積物の除去等に取り組んできた。また、建網漁業・カゴ漁業・底曳網漁業などの所得向上のため、クルマエビ・ガザミ等の種苗放流、海底耕うん・清掃などを継続してきた。</p> <p>また、平成 24 年度より試験的に取り組んだ干潟でのカキ養殖は、平成 26 年度より本格養殖へと移行し、区画漁業権の取得、漁業共済への加入も経て、生産規模は平成 30 年度目標の 50 万個まで拡大し、地元・国内外へと販路を伸ばしている。</p>

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

今期の浜の活力再生プランの基本方針

前述 (1) で記した成果と課題を踏まえつつ、下文の内容を基本方針として各種活動に取り組む。

また、プランの進捗を随時確認し、状況に対応しながら推進していく。

1. カキ養殖事業

生産規模は第1期の目標である50万個の種苗投入を維持したまま、第1期の課題に対応する以下の(i)~(iv)の取組みを実施し、更なる所得の向上を目指す。

(i) 大型化によるカキの高品質化を図る【新規】

〈カキ種苗投入の早期化、自家採苗の導入〉

(ii) 作業効率を向上させ、育成改善に要する十分な時間を確保し、もってカキの高品質化を図る【新規】

〈省力化機器の導入〉

(iii) 災害対策を行う【新規】

〈台風対策・防風波浪柵の設置〉

(iv) 販路拡大を継続する【継続】

〈国内外での販路の拡大〉

【サブ指標】 殻付生カキ販売個数 ※最も高品質・高価格で取引される。

2. 6次産業化

第1期の課題に対して以下の取組を行うことで、6次産業化の強化を図る。

(i) ハモ・シタビラメ・カキ加工品の販売力強化及び販路開拓を行う【継続（取組強化）】

〈既存販路における販売力強化のための6次産業化に携わる組合員の体制の再構築、新規販路の開拓の検討〉

(ii) 魚食普及活動を行う【新規】

〈ハモ・シタビラメを含む地魚を使った魚食普及活動の実施、魚食普及のための異業種との連携の検討〉

(iii) カキ小屋営業を強化する【継続（取組強化）】

〈カキ小屋の規模・期間の拡大〉

【サブ指標】 カキ小屋来場者数

3. 資源の増大

第1期に実施した取組のうち、(i)「種苗放流を行う」及び(ii)「有害生物の除去活動を実施す

る」を継続実施するとともに、第1期において「アサリ養殖事業」として取り組んだ内容を修正し、(iii)「アサリ等の増殖方法を検討する」として本項目に移行させ、資源増大を目指す。また、資源が増大する中で、天然資源増加による漁獲量の増加につなげ、漁業者の所得向上を図る。

(i) 種苗放流を行う【継続】

〈クルマエビ・ガザミの種苗放流の実施、その他の種苗放流の検討〉

(ii) 有害生物の除去活動を実施する【継続】

〈ナルトビエイ等〉

(iii) アサリ等の増殖方法を検討する【継続】

〈底質改善の実施、アサリ稚貝モニタリング、底質改善以外のアサリ等増殖方法の検討〉

【サブ指標】 アサリ、クルマエビ、ガザミの漁獲量

4. コストの削減

減速航行等による省燃油は一程度を超えると逆効果となってしまうため、第1期の省燃油の取組の維持に加え、ドローン等の新しいIT技術の導入による漁場管理の省力化を図ることで、燃油費のさらなる削減を目指す。

(i) 効率性を維持できる省燃油活動に取り組む【継続】

〈減速航行・省燃油機器への転換の奨励〉

(ii) 漁場管理のための新しいIT技術を導入する【新規】

〈ドローン等による漁場管理〉

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

【漁業者の自主的取組】

- ・周防灘小型機船船曳網漁業対象種（カレイ類、ヒラメ、クルマエビ、シヤコ）の水揚体長制限。
- ・かにかご漁業、小型機船底曳網漁業、刺網漁業は毎月第2土曜日を休漁日に設定。

【大分海区漁業調整委員会指示】

- ・アサリ資源の回復を図るため、大分海区漁業調整委員会指示により、殻長制限の強化、産卵・親貝の保護等の制限。

【都道府県漁業調整規則による規制】

- ・小型機船底曳網漁業では漁具を制限（こぎ網は15cmにつき15節以下）。
- ・小型機船底曳網漁業では禁止区域、操業期間を設定。
- ・ガザミについて甲幅15cm以下の個体の採捕を禁止。

(4) 具体的な取組内容 (毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目 (平成31年度)

漁業収入向上のための取組	<p>1. カキ養殖事業</p> <ul style="list-style-type: none">(i)-1. カキ種苗の早期投入の実施 (H30 に対し 2 週間の早期化)(i)-2. 先進地の視察 (島根県海士町等)、 自家採苗方法・施設の検討 (情報収集・検討会等)(ii)-1. カキ洗浄機等の省力化機器の導入の検討 (情報収集・現地視察等)(iii)-1. 台風対策・暴風波浪柵の設置方法の検討(iv)-1. 国内外での商談への参加や既存販路の強化等 <p>2. 6次産業化</p> <ul style="list-style-type: none">(i)-1. 6次産業化に携わる組合員の体制の再構築 (カキ小屋での販売等と加工作業等に携わる組合員の体制を見直す)(ii)-1. ハモ・シタビラメを含む地魚を使った魚食普及活動の検討(ii)-2. 魚食普及のための異業種との連携の検討 (学校、商店、商工団体等)(iii)-1. カキ小屋の規模・期間の拡大 (前年度営業結果に鑑み、規模または日数を増加させる) <p>3. 資源の増大</p> <ul style="list-style-type: none">(i)-1. 種苗放流の実施 (クルマエビ、ガザミ)(i)-2. クルマエビ・ガザミ以外の種苗放流の検討 (情報収集または検討会等)(ii)-1. 有害生物の除去活動の実施 (ナルトビエイ等)(iii)-1. アサリ等の増殖のための底質改善方法の検討 (情報収集・検討会等)(iii)-2. アサリの稚貝のモニタリング <p>漁業収入向上のための取組により、基準年比 2%の所得向上を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>4. 省燃油・省力化によるコストの削減</p> <ul style="list-style-type: none">(i)-1. 減減速航行の奨励(i)-2. 省燃油機器への転換の奨励(ii)-1. ドローンによる漁場管理
活用する支援措置等	<p>省燃油活動推進事業 (国) カキ養殖振興事業 (市) 大分県カキ類養殖生産者協議会活動費 (県) 水産物ブランド化・販路拡大事業 (市) 魚食普及推進事業 (市) 種苗放流事業 (市)</p>

	水産多面的機能発揮対策事業（国） 漁場保全事業（市） アサリ等増殖強化支援事業（市）
--	--

2年目（平成32年度）

漁業収入向上のための取組	<ol style="list-style-type: none"> 1. カキ養殖事業 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. H31 種苗投入早期化の評価・改善・実施 (i)-2. 自家採苗試験場の建設、自家採苗試験の実施、及び先進地の視察 (ii)-1. 省力化機器の導入 (iii)-1. 台風対策・暴風波浪柵の設置 (iv)-1. 国内外での商談への参加や既存販路の強化等 2. 6次産業化 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. H31 再構築体制の評価・改善 (ii)-1. ハモ・シタビラメを含む地魚を使った魚食普及活動の実施 (ii)-2. 魚食普及のための異業種との連携体制構築（学校、商店、商工団体等） (iii)-1. 前年度営業結果に基づくカキ小屋の規模・期間の調整 (iii)-2. 常設カキ小屋施設建設の検討（調査・先進地視察・関係機関との調整等） (iv)-1 新規参加者の呼びかけを実施 3. 資源の増大 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. 放流適地・放流方法を改めて検討し、種苗放流を実施（クルマエビ、ガザミ） (i)-2. クルマエビ・ガザミ以外の種苗放流の検討（情報収集または検討会等） (ii)-1. 有害生物の除去活動の実施（ナルトビエイ等） (iii)-1. 底質改善の実施 (iii)-2. アサリの稚貝のモニタリングおよび H31 モニタリング結果に基づくアサリ増殖方法の検討 (iii)-3. 底質改善以外のアサリ等の増殖方法の検討（情報収集・検討会等） <p>漁業収入向上のための取組により、基準年比 4%の所得向上を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<ol style="list-style-type: none"> 4. 省燃油・省力化によるコストの削減 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. 減減速航行の奨励 (i)-2. 省燃油機器への転換の奨励 (ii)-1. ドローンによる漁場管理

活用する支援措置等	省燃油活動推進事業（国） カキ養殖振興事業（市） 大分県カキ類養殖生産者協議会活動費（県） 水産物ブランド化・販路拡大事業（市） 魚食普及推進事業（市） 種苗放流事業（市） 水産多面的機能発揮対策事業（国） 漁場保全事業（市） アサリ等増殖強化支援事業（市） 地域資源活用推進事業（国） 漁村女性活躍推進事業（国）
-----------	---

3年目（平成33年度）

漁業収入向上のための取組	<ol style="list-style-type: none"> 1. カキ養殖事業 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. H32 種苗投入早期化の評価・改善・実施 (i)-2. H32 自家採苗試験場の評価・改善、自家採苗の本格導入 (ii)-1. H32 導入機器の評価・改善 (iii)-1. H32 設置柵の評価・改善（必要に応じて別の手法の検討・導入） (iv)-1. 国内外での商談への参加や既存販路の強化等 2. 6次産業化 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. H32 体制の評価・改善 (i)-2. 新体制で新しい販路を検討・開拓する (ii)-1. H32 魚食普及活動の評価・改善・実施 (ii)-2. H32 異業種連携体制の評価・改善 (iii)-1. 前年度営業結果に基づくカキ小屋の規模・期間の調整 (iii)-2. 常設カキ小屋施設建設の検討（調査・先進地視察・関係機関との調整等） 3. 資源の増大 <ol style="list-style-type: none"> (i)-1. 放流適地・放流方法を再検討し、種苗放流を実施（クルマエビ、ガザミ） (i)-2. クルマエビ・ガザミ以外の種苗放流の実施 (ii)-1. 有害生物の除去活動の実施（ナルトビエイ等） (iii)-1. H32 底質改善の評価・改善・実施 (iii)-2. アサリの稚貝のモニタリングおよび H32 モニタリング結果に基づくアサリ増殖方法の検討
--------------	---

	<p>(iii)-3. 底質改善以外のアサリ等の増殖方法の検討（情報収集・検討会・先進地視察等）</p> <p>漁業収入向上のための取組により、基準年比 6%の所得向上を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>4. 省燃油・省力化によるコストの削減</p> <p>(i)-1. 減減速航行の奨励</p> <p>(i)-2. 省燃油機器への転換の奨励</p> <p>(ii)-1. ドローンによる漁場管理</p>
活用する支援措置等	<p>省燃油活動推進事業（国）</p> <p>カキ養殖振興事業（市）</p> <p>大分県カキ類養殖生産者協議会活動費（県）</p> <p>水産物ブランド化・販路拡大事業（市）</p> <p>魚食普及推進事業（市）</p> <p>種苗放流事業（市）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（国）</p> <p>漁場保全事業（市）</p> <p>アサリ等増殖強化支援事業（市）</p> <p>地域資源活用推進事業（国）</p> <p>漁村女性活躍推進事業（国）</p>

4年目（平成34年度）

漁業収入向上のための取組	<p>1. カキ養殖事業</p> <p>(i)-1. H33 種苗投入早期化の評価・改善・実施</p> <p>(i)-2. H33 自家採苗および施設の評価・改善</p> <p>(ii)-1. H32 導入機器の評価・改善（導入機器が安定して利用できれば、新たな省力化機器の導入の検討も行う）</p> <p>(iii)-1. H32 設置柵の評価・改善（必要に応じて別の手法の検討・導入）</p> <p>(iv)-1. 国内外での商談への参加や既存販路の強化等</p> <p>2. 6次産業化</p> <p>(i)-2. 新しい販路を検討・開拓する</p> <p>(ii)-1. H33 魚食普及活動の評価・改善・実施</p> <p>(ii)-2. H33 異業種連携体制の評価・改善</p> <p>(iii)-1. 前年度営業結果に基づくカキ小屋の規模・期間の調整</p> <p>(iii)-2. 常設カキ小屋施設建設の検討（調査・先進地視察・関係機関との調整等）</p>
--------------	---

	<p>3. 資源の増大</p> <p>(i)-1. 放流適地・放流方法を再検討し、種苗放流を実施（クルマエビ、ガザミ）</p> <p>(i)-2. H33 実施の放流方法・放流場所の評価・改善し、クルマエビ・ガザミ以外の種苗放流を実施</p> <p>(ii)-1. 有害生物の除去活動の実施（ナルトビエイ等）</p> <p>(iii)-1. H33 底質改善の評価・改善・実施</p> <p>(iii)-2. アサリの稚貝のモニタリングおよび H33 モニタリング結果に基づくアサリ増殖方法の検討</p> <p>(iii)-3. 底質改善以外のアサリ等の増殖方法の実施</p> <p>漁業収入向上のための取組により、基準年比 8%の所得向上を図る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>4. 省燃油・省力化によるコストの削減</p> <p>(i)-1. 減減速航行の奨励</p> <p>(i)-2. 省燃油機器への転換の奨励</p> <p>(ii)-1. ドローンによる漁場管理</p>
活用する支援措置等	<p>省燃油活動推進事業（国）</p> <p>カキ養殖振興事業（市）</p> <p>大分県カキ類養殖生産者協議会活動費（県）</p> <p>水産物ブランド化・販路拡大事業（市）</p> <p>魚食普及推進事業（市）</p> <p>種苗放流事業（市）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（国）</p> <p>漁場保全事業（市）</p> <p>アサリ等増殖強化支援事業（市）</p> <p>地域資源活用推進事業（国）</p> <p>漁村女性活躍推進事業（国）</p>

5年目（平成35年度）

漁業収入向上のための取組	<p>1. カキ養殖事業</p> <p>(i)-1. 種苗投入早期化システムの確立</p> <p>(i)-2. 自家採苗システムの確立</p> <p>(ii)-1. H32 導入機器の評価・改善（導入機器が安定して利用できれば、新たな省力化機器の導入の検討も行う）</p> <p>(iii)-1. H32 設置柵の評価・改善（必要に応じて別の手法の検討・導入）</p> <p>(vi)-1. 国内外での商談への参加や既存販路の強化等</p>
--------------	--

	<p>2. 6次産業化</p> <p>(i)-2. 新しい販路を検討・開拓する</p> <p>(ii)-1. H34 魚食普及活動の評価・改善・実施</p> <p>(ii)-2. H34 異業種連携体制の評価・改善</p> <p>(iii)-1. 前年度営業結果に基づくカキ小屋の規模・期間の調整</p> <p>(iii)-2. 常設カキ小屋施設建設の開始</p> <p>(iv)-1 新規参加者の呼びかけ、年1回のイベントを実施</p> <p>3. 資源の増大</p> <p>(i)-1. 放流適地・放流方法を再検討し、種苗放流を実施（クルマエビ、ガザミ）</p> <p>(i)-2. H34 実施の放流方法・放流場所の評価・改善し、クルマエビ・ガザミ以外の種苗放流を実施</p> <p>(ii)-1. 有害生物の除去活動の実施（ナルトビエイ等）</p> <p>(iii)-1. アサリ等の増殖のための底質改善方法の確立</p> <p>(iii)-2. アサリの稚貝のモニタリングおよび H34 モニタリング結果に基づくアサリ増殖方法の検討</p> <p>(iii)-3. H34 アサリ等の増殖方法の評価・改善・実施</p> <p>漁業収入向上のための取組により、基準年比 10%の所得向上を図る。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 省燃油・省力化によるコストの削減</p> <p>(i)-1. 減減速航行の奨励</p> <p>(i)-2. 省燃油機器への転換の奨励</p> <p>(ii)-1. ドローンによる漁場管理</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>省燃油活動推進事業（国）</p> <p>カキ養殖振興事業（市）</p> <p>大分県カキ類養殖生産者協議会活動費（県）</p> <p>水産物ブランド化・販路拡大事業（市）</p> <p>魚食普及推進事業（市）</p> <p>種苗放流事業（市）</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業（国）</p> <p>漁場保全事業（市）</p> <p>アサリ等増殖強化支援事業（市）</p> <p>地域資源活用推進事業（国）</p> <p>漁村女性活躍推進事業（国）</p>

(5) 関係機関との連携

委員会事務局である大分県漁業協同組合中津支店を中心に、中津市、大分県と連携して、目標達成のため、各種事業の推進を図る。

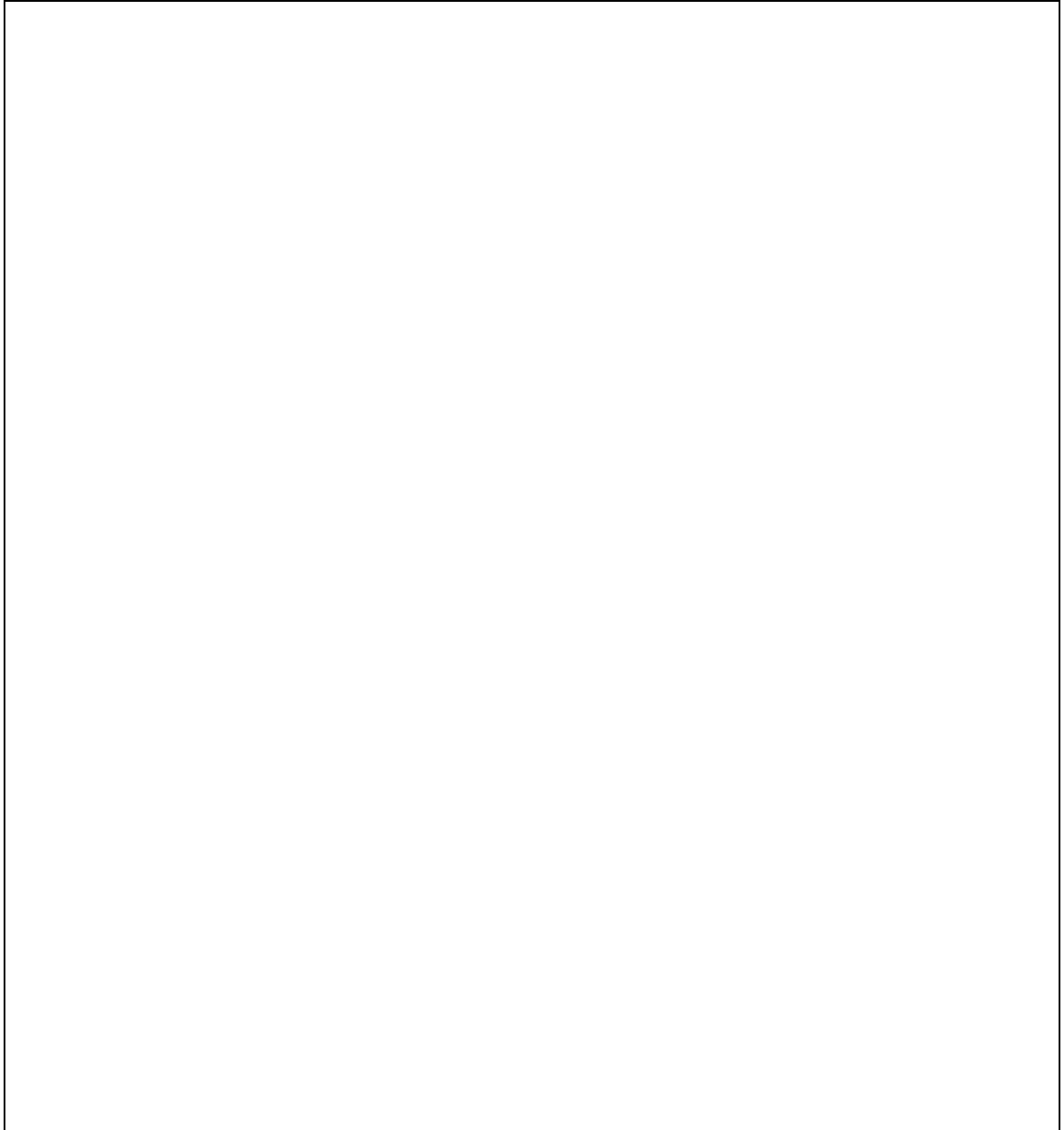
4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上 (6次産業化事業からの組合員所得を含む)	基準年	平成30年度： 漁業所得	千円
	目標年	平成35年度： 漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

Blank area for the calculation method and its appropriateness.



(3) 所得目標以外の成果目標

殻付き生カキ販売数	基準年	平成30年度： 157,000個
	目標年	平成35年度： 250,000個
カキ小屋来場者数	基準年	平成30年度： 3,600人
	目標年	平成35年度： 4,600人

ガザミの漁獲量	基準年	平成30年度： 16,467トン
	目標年	平成35年度： 18,114トン
クルマエビの漁獲量	基準年	平成30年度： 4,184トン
	目標年	平成35年度： 4,602トン
アサリの漁獲量	基準年	平成30年度： 1,056トン
	目標年	平成35年度： 1,161トン

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>○基準数値の設定（基準年：平成30年度） ※別添 算出根拠資料（サブ指標）参照 （カキ養殖事業）殻付き生カキ販売個数</p> <p>① H26年度からH29年度の種苗投入個数および生カキ販売個数から、「種苗投入個数に対する生カキ販売個数の比率」を算出。</p> <p>② H30年度の種苗投入個数（実績）にH29年度の「種苗投入個数に対する生カキ販売個数の比率」を代用比率として乗じ、H30年度の生カキ販売個数を算出。算出された数値の千未満を四捨五入し、基準数値とした。</p> <p>(6次産業化) カキ小屋来場者数</p> <p>③ H26年度からH29年度のカキ小屋営業日数と来場者数から、一日あたりのカキ小屋来場者数を算出。</p> <p>④ ③により、H29年度の一日あたりのカキ小屋来場者数は、(金・土・日)のみの開催で143人であった。一方で、H30年度は、(金・土・日)に加え、平日である(水・木)も開催であるため、全体としては来場者数の増加し、一日あたりとしては来場者数の減少が考えられる。H29年度就来場者数を参考に、(金・土・日)の一日あたりの来場者数を100人、(水・木)の一日あたりの来場者数を50人と仮定した。以上の仮定をもとに、H30年度のカキ小屋来場者数を算出し、基準数値とした。</p> <p>(資源の増大) ガザミ、クルマエビ、アサリの漁獲量</p> <p>⑤ H26年度からH29年度の漁獲量に基づき、平均漁獲量を算出し、算出された数値を基準数値とした。</p> <p>①～⑤により、基準数値は以下の通り設定する。</p> <p>【基準数値】 (殻付き生カキ販売個数) 157,000個</p>

(カキ小屋来場者数)	3,600 人
(漁獲量) ガザミ	16,467 kg
クルマエビ	4,184 kg
アサリ	1,056 kg

○目標数値の設定（目標年：平成35年度）

1. カキ養殖事業

基準年では、生産数量（投入種苗数）に対し、生カキの販売個数は約3分の1であった。これを目標年で2分の1とすることを目標に数値を設定した。

2. 6次産業化

基準年となる H30 年度より、カキ小屋の営業日を平日の（水・木）にも拡大するが、週末の営業日に比べ来客数の増加は緩やかになりことが考えられるため、5年間で営業日数の増加や営業方法等の改善を行いながら、1,000 人の来場者数の増加を目指す。

3. 資源の増大

所得については、目標年は基準年より 10%の向上を目標とすることから、本プランにより種苗放流や増殖強化を図るガザミ、クルマエビ、アサリについても、5年間で 10%の漁獲量の増大を目標とする。

1～3より、目標数値は以下の通り設定する。

【目標数値】 （殻付生カキ販売個数）	250,000 個
(カキ小屋来場者数)	4,400 人
(漁獲量) ガザミ	18,114 kg
クルマエビ	4,602 kg
アサリ	1,161 kg

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
省燃油活動推進事業	減速航行及び省燃油機器への転換に対する国庫事業 【関連する取組】 コストの削減
カキ養殖振興事業	カキ養殖事業に対する中津市の補助事業 【関連する取組】 1. カキ養殖事業

大分県カキ類養殖生産者協議会活動費	大分県内のカキ類養殖生産者協議会によるカキ養殖事業の活動に対する助成事業 【関連する取組】 1. カキ養殖事業
水産物ブランド化・販路拡大事業	カキ等の水産物のブランド化及び販路拡大に対する中津市の補助事業 【関連する取組】 1. カキ養殖事業 2. 6次産業化
沿岸漁業振興特別対策事業 沿岸漁業構造経営改善事業	漁場整備や省力化・効率的な漁業近代化施設、流通・加工施設等の整備等により漁協経営基盤の強化および漁業経営の安定と所得の向上を図る大分県の補助事業。 【関連する取組】 1. カキ養殖事業 2. 6次産業化
魚食普及推進事業	魚食普及のための中津市の補助事業 【関連する取組】 2. 6次産業化
種苗放流事業	大分県及び中津市の行う放流事業（クルマエビ、ヨシエビ、ガザミ等）による漁獲量増加及び漁業収入向上を図るための事業 【関連する取組】 3. 資源の増大
水産多面的機能発揮対策事業	干潟の清掃や客土及び有害生物の駆除、山国川流域での植林の実施 【関連する取組】 3. 資源の増大
漁場保全事業	アサリの増殖のための漁場保全に対する中津市の補助事業 【関連する取組】 3. 資源の増大
アサリ等増殖強化支援事業	中津干潟でのアサリ増殖方法の検討・調査に対する中津市の補助事業 【関連する取組】 3. 資源の増大
水産業強化支援事業	カキ養殖、水産物加工・販売、アサリ増殖に係る施設等の整備に対する補助事業 【関連する取組】 1. カキ養殖事業 2. 6次産業化 3. 資源の増大

<p>地域資源活用推進事業</p>	<p>6次産業化の販売施設を活用した地域水産物の普及、魚食普及活動等、戦略的な情報発信を支援する補助事業</p> <p>【関連する取組】 1. カキ養殖事業 2. 6次産業化 3. 資源の増大</p>
<p>漁村女性活躍推進事業</p>	<p>漁村女性や女性漁業者からなる女性部の活動を支援する事業</p> <p>【関連する取組】 2. 6次産業化</p>